

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 草加市カヌー協会「草加パドラーズ」

24A-08

代表者：代表理事 中島 清治

URL :

1. 活動が必要とされた状況

平成 26 年、草加松原が文化庁の「おくのほそ道の風景地」として名勝に指定されたが、側を流れる綾瀬川が、悪臭、不法投棄ゴミで汚れていたため、カヌーで浮遊ゴミの回収活動を始めた。名勝草加松原の側を流れる綾瀬川が、不法投棄ゴミであふれて大変不名誉であった。市民と行政が連携して、川の再生を図ることが重要な課題であった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

平成 26 年 12 月にカヌーで浮遊ゴミの回収活動を開始した。毎週水、土、日、祝日の午前 8 時 30 分から 2 時間程の活動である。令和 4 年で河川美化活動は 8 年目である。令和 3 年は、活動回数 136 回、参加人数の合計は 1,497 名、ゴミの回収量は 1,010 袋（45ℓビニール袋）であった。ペットボトル、空き缶、空き瓶、発泡スチロール、コンビニ弁当殻、ビニール袋、家庭ごみなどである。10 月 24 日（日）、サイサン環境保全基金助成事業役員 10 名が来草し、カヌー体験と合同ゴミ拾い活動が実施できた。



3. 活動の成果

平成 26 年当初は会員 2 名で始めたが、令和 3 年 12 月現在の会員数は 120 名となった。7 年間で、活動回数は 975 回、参加総人数は 8,582 名、ゴミの回収総量は 5,451 袋である。ゴミ袋を積み上げると雲取山（2,017m）をはるかに超える量である（※45ℓビニール袋 1 袋分＝50cm に換算）。また、草加市内だけでなく、足立区、越谷市、春日部市などと広域連携活動ができた。コロナ禍の中、予防措置を講じながら、夏休みカヌー教室（20 名）、カヌー体験会（530 名）、第 2 回松尾芭蕉杯カヌー大会（150 名）を開催することができた。

4. 今後に残された課題

一昨年、春日部市カヌー協会と足立パドラーズを、昨年、越谷市カヌー協会を発足させた。草加市だけではなく、春日部、川口、越谷、足立区等の広範囲な流域で取り組む必要性を強く感じている。そのためには、カヌーや救命ボートの陸路運搬費、母船の航続距離が長い船外機の購入が必要である。綾瀬川、綾瀬川放水路、中川、花畑川でのゴミ回収母船、非常時の物資運搬、人命救助など危機管理の充実を図っていきたい。水辺を活かした安全で潤いのある街づくりを、行政と連携し積極的に取り組んで行きたいと考えている。